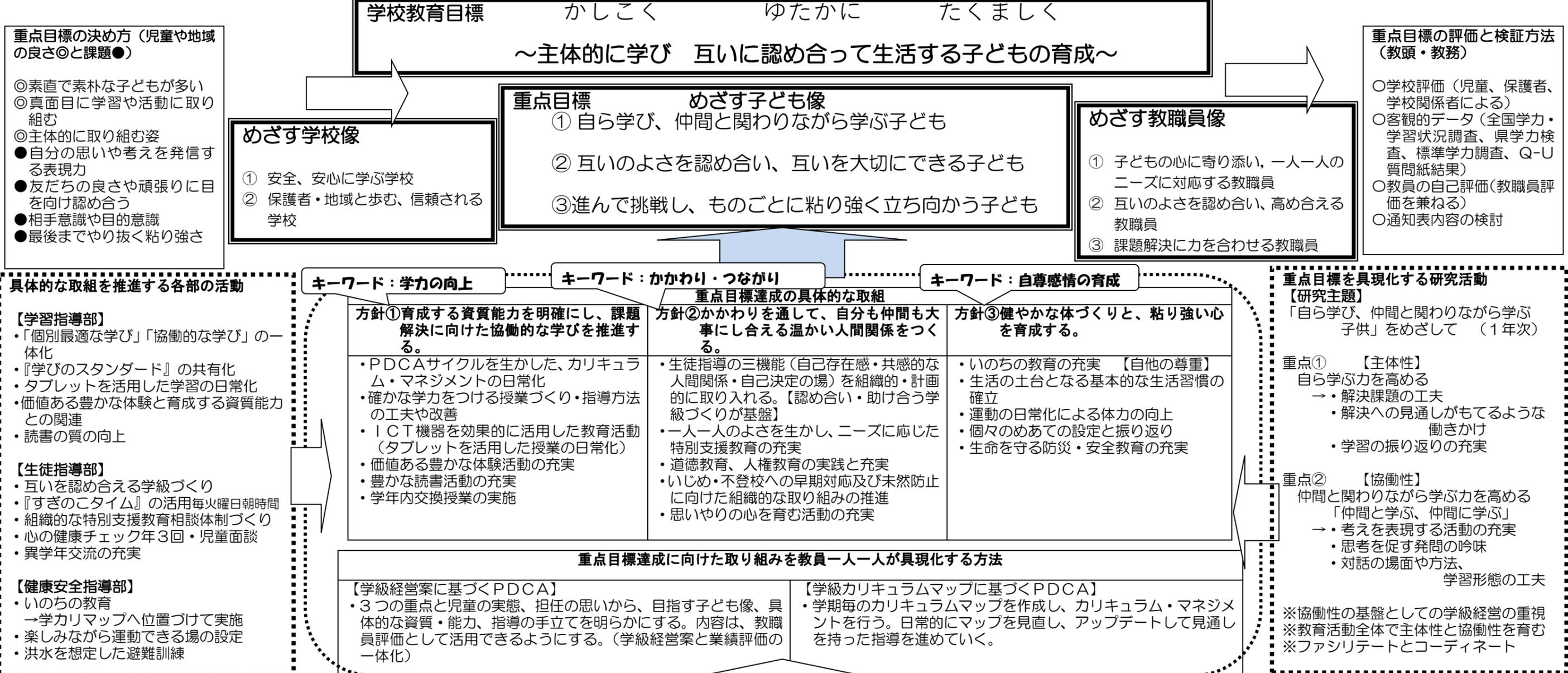


# 令和5年度 学校重点目標具現化の「学校経営グランドデザイン」

# 山形市立南山形小学校



担任が授業づくり・学級づくりに専念できるよう教員の教育活動を支援する学校経営活動				
組織・運営の改善（含む会議改革）	教育課程（含む行事や週時程）の改善等	特別支援教育体制の充実	家庭・地域との連携、教育資源の活用等	その他、OJT・働き方の改善等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議前の検討事項協議・情報の共有化のため、主任会を適宜設定する。提案の仕方、内容の精選を行い、職員会議の時間の短縮を図る。</li> <li>・カリキュラムマネジメントを推進する。カリキュラムマップを作成し、日常的な見直しをしてアップデートする時間を設定する。</li> <li>・学年内、または担当が入った教科担任制の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の個人面談は、保護者の思いや願いを聞き、繋がりを持つ機会とする。</li> <li>・学習発表会は1日開催で、全校児童・保護者が参観できるようにする。</li> <li>・認め合える学級作りの基盤として、週1回火曜日の朝の活動を【すぎのこタイム】とし、ペアトークやエンカウンター等に取り組む。この時間の意義を共有し、担当者が提案する。</li> <li>・教育活動全体で【主体性】【協働性】を育むこととし、各活動をPDCAサイクルで実施する。常にC→Aに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーターを中心に、担任の困り感に寄り添い支援する体制を構築する。</li> <li>・タイムリーに教育支援部会を開催し、具体的な支援活動を明らかにする。</li> <li>・週1回の職員打合せ【子どもを語る会】で、見守りや支援が必要な子どもの情報を共有する。</li> <li>・実態や要望に応じて、担当が、TT指導や取り出し指導でのサポートを行う。</li> <li>・保護者との面談には必要に応じてコーディネーターも同席し、保護者の困り感や願いに支援できるようにする。なお、記録をシートに残し、関係者で情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のよさや、自然・文化を生かした教育活動を位置づけ、地域学校協働活動推進員を日常的に活用する。</li> <li>・学校運営協議会と連携しながら、地域を大切に思う子どもを育てていく。</li> <li>・保護者と共通理解を図る面談や参観を大切にし、信頼関係を構築する。</li> <li>・学校や子どもの情報を、家庭や地域にタイムリーに発信する。（学校だよりはHP掲載・学年だよりはメール配付）</li> <li>・保護者アンケートの電子入力化</li> <li>・近隣学校（園）との連携と教育活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚性の構築</li> <li>→互いに支え合って、のりしろを広く</li> <li>・タイムマネジメントに努め、日々の生活を豊かにしていく。</li> <li>・喫緊の教育課題に対する職員研修計画（年3回）</li> <li>・職員みんなで若手教員を育てる日常的なOJT</li> <li>・PF時間の設定（放課後、事務処理時間の確保）</li> <li>・職員打合せの資料は、ペーパーレス化</li> <li>・月1回定時退校日</li> </ul>